



(社)京都犯罪被害者支援センター Kyoto Victim Support Center

はひとめーる

第21号

社団法人
京都犯罪被害者支援センター
発行人：大谷 實
〒602-8027 京都市上京区下立売通
新町東入東立売町
平成19年3月31日発行
日本財団 助成事業

平成18年度全国被害者支援ネットワーク 春期全国研修会を京都にて開催



2月8日よりガーデンパレスで始まった研修会は全国から400名の参加者を迎え、開催しました。会場ロビー窓から向かい合って、蛤御門が見渡せます。150年前、近代日本の変革期に歴史に名を馳せたこの場所で新しい被害者支援の開幕を告げるフォーラムを開催出来たことは、京都犯罪被害者支援センターの大きな喜びでありました。

山上全国被害者支援ネットワーク理事長、大谷京都犯罪被害者支援センター理事長の挨拶、来賓の挨拶に続いて、奥村正雄氏の紹介で、イギリス・ヴィクティムサポート前代表・現ヨーロッパカOUNシル犯罪・テロリズム被害者支援専門委員会議長ヘレン・リーブス氏の講演がありました。ヘレン氏はEUが採択した刑事手続における被害者の地位に関する枠組みの決定、欧州評議会の活動に関して、特に2006年6月に採択された犯罪被害者の支援のための勧告について、また英国における最近の動き、政府の政策を様々な実例をもって説明されました。また、ヴィクティムサポートが深く政府の政策の中に関わりながら、NGOとして、どれだけ独立してやってゆくことが出来るかということも大きな課題であると語られました。日本は、政府が推進する計画を実施する5年後についての可能性を考えると、その頃犯罪被害者のための包括的な権利とサービスを行える最初の先進国となる可能性があります。今後、お互いから刺激を受け合い、学び合いながら前

進しましょうというメッセージを頂きました。

15時から30分間、法務省官房審議官三浦 守氏により、前日、法制審議会で法務大臣に答申された内容を話されました。審議官ご自身、「ちょうど昨日の話で、その翌日にご説明するということですので、大変私としても感慨深いものがあるところでございます」と述べられ、会場は一瞬息をのみました。答申されたテーマは5つあり、そのうち犯罪被害者に関わるものは2つあったことも丁寧に述べられ、何よりも大きなことは、被害者の刑事裁判への参加でありました。

15分の休憩の後、パネルディスカッション「犯罪被害者の生活の再建」“Rebuilding Lives of Crime Victims”が始まりました。コーディネーターの被害者サポートセンターおかやま理事長高原勝哉氏により、発言者の京都犯罪被害者支援センター副理事長平井紀夫氏、秋田被害者支援センター専務理事舩屋 一氏、長野犯罪被害者支援センター常任理事関川光彦氏が紹介され、経済的被害回復、地方自治体としての関わり、民間の被害者支援団体が抱える課題について最も新しい切り口から語り合われました。

第1日目のプログラム終了後、交流会は北隣の平安会館に移りました。

茂山家狂言「鬼瓦」で始まった交流会は小石原京都府副知事の挨拶、山上ネットワーク理事長の乾杯で懇談に入り、混み混みの会場が熱気に包まれるなか、第1日目を終了しました。

翌2月9日は、平安会館にて研修会と分科会。10時より11時まで、当センター理事吉田誠司氏の進行によって、韓国犯罪被害者支援中央センター事務局長チェ・ヘソン氏によって、「韓国における被害者支援」の講演が行われました。チェ氏は、中央センター開設前日に「ホームページを見て」当センターに電話をかけてきて下さって以来の交流です。率直な語り口で隣国の支援を説明して下さい、活発な質疑応答がありました。

続いて、12時まで当センター副理事長山下俊幸氏による講演「支援者のためのメンタルヘルス - 支援の継



続のために -」が行われました。内容は精神科医であるご自身の体験がベースとなっているお話でした。「一番しんどかったのは、今だから言えますが、早期援助団体指定の頃です」と言われ、1年間に20数回の運営委員会、準備会等を開き、検討を重ねたあの頃を思い出しました。

忙しいお弁当の時間を終え、午後から4つの分科会を持ちました。会場の都合もあり、参加者の人数に、大変な偏りがありましたが、コーディネーター、ご発言者の、皆さんの工夫が大きく、良い論議が行われました。

大久保全国被害者支援ネットワーク副理事長のまとめ、渡辺事務局長のご挨拶をもって、今年度春期研修会は終了しました。

来年、長野でお会いしましょう。

全国研修を体験して ～ひと言コメント～

ボランティアの皆さんから頂きました

- * ヘレン・リーブスさんをお招きして講演を伺い、日本とEU、これほどの地理的距離があるにもかかわらず、その志と目的はひとつだと知って大変感動しています。
- * 京都犯罪被害者支援センターのボランティアとして、日本全国にこんなに大勢のボランティア仲間がいることを実感し、大きな力を感じました。
- * ふだんは、なかなか全員顔を合わせることの少ないボランティア9期生という新しい仲間も迎え、ひとつのことを皆で成されたことを誇りに思います。運営は大変うまくいったと思っています。
- * 分科会は、他の団体の様子を知ることができて大変勉強になりました。京都も頑張っていきたいと思えます。

冊子のお知らせ

今回、ボランティアとして参加して下さった皆様には、講演やシンポジウム、分科会等、それぞれのお世話役として活躍頂いたので、その内容について全く知らなかった方々がほとんどです。講演やシンポジウム等、テープ起こしをして、送ってもらった内容は素晴らしいものでした。そこで改めて全国大会でどのような内容が話され、また検討されたのか、是非全容をお知らせし、ご参加下さったネットワーク支援団体の皆様にも読んで頂きたいと冊子を作成中です。このは一とめーるが発送される頃には完成していると思っておりますので、楽しみにして下さい。



講師派遣しています

今年度の講師派遣件数は26件で、月平均2回以上と多忙でした。月1回の定例となっている家庭裁判所の他、何度もお招き頂いている美保学園、また宇治少年院等、青少年への被害者の思いを支援者として伝える役目は大きいものと思います。被害者の声とその思いを伝える役目を担うことは、より深く真摯に被害者の声に耳を傾ける姿勢となって、支援者を支えています。

派遣先は下記の通りです。

- 4月27日 家裁講話
- 5月25日 家裁講話
- 6月14日 宇治保護司会講演
22日 家裁講話
- 7月27日 堀川署犯罪被害者支援連絡協議会講演
28日 山科更生保護女性会講演
- 8月19日 被害者サポートセンターおかやま講演
21日 京都刑務所講話
24日 家裁講話
30日 美保学園講演
- 9月23日 広島被害者支援センター講演
28日 家裁講話
- 10月20日 八幡署被害者支援連絡協議会講演
26日 家裁講話
28日 被害者サポートセンターおかやま講演
- 11月16日 家裁講話
27日 宮津犯罪被害者支援連絡協議会講演
- 12月21日 家裁講話
- 1月25日 家裁講話
- 2月13日 京都地方裁判所研修講演
22日 家裁講話
23日 少年院講話
28日 医療少年院講話
- 3月2日 美保学園講演
13日 京都地方検察庁講演
22日 家裁講話



研修だより

今年度の研修について、5月9日～11月18日に到る9回の月例研修会を開催致しました。

特に9月から委託開設をしたフリーダイヤルについて、「電話相談・フリーダイヤルを考える」の講座を持ち、従来の電話相談と違った特性について、石附先生より講義を頂き、開設に備えました。11月には2コマの講座、「援助者の自己覚知とサポートの限界」及び、直接支援員へのグループスーパービジョンを常磐大学長井進先生にお願いしました。支援員としての経験も次第に深まって、ふと迷いも生じて来る時期、改めて支援者として、自分自身を再発見して頂けたのではないかと思います。また、12月16日より始まった事前研修についても、毎回、月例研修同様に参加を呼びかけました。内容については、激動の時代にふさわしい1年ごとの変化があり、制度も枠組みも変わりつつあることを、今年の研修を通じて実感しました。

平成18年度月例研修 (敬称略)

開催日・場所	内容・テーマ	講師 敬称略
平成18年 5月9日(火) ハートピア京都	被害者支援に望むこと	KVSC理事・ 運営委員長・弁護士 吉田誠司
6月9日(金) 京都地方裁判所	傍聴及び施設見学	京都地方裁判所職員
京都地方検察庁	検察庁の業務及び庁内 見学等	京都地方検察庁職員
7月8日(土) 京都商工会議所	被害者の声を聴く	少年被害者家族
8月29日(火) KPPみやこ会館	被害者支援に関わって	KVSC相談員・ 相談アドバイザー 三木田博章
9月25日(月) KPPみやこ会館	電話相談・フリーダイ ヤルを考える	KVSC理事・ 京都光華女子大学教授・ 臨床心理士 石附 敦
10月10日(火) KPPみやこ会館	家庭裁判所の業務と少 年事件の現状について	京都家庭裁判所 次席家庭裁判所調査官 山本弘二
11月18日(土) 京都商工会議所	援助者の自己覚知とサポ ートの限界について(全員)	(社)いばらき被害者支援 センター理事・ 常磐大学人間科学部教授 臨床心理士
	直接支援員へのグル ープスーパービジョン	長井 進
12月9日(土) ～1月13日(土)	事前研修のプログラムから選んで受講	
2月8日・9日	全国被害者支援ネットワーク春期全国研修会	
3月14日(水) 京都地方裁判所	傍聴及び施設見学 (9期生及び希望者)	京都地方裁判所職員
3月22日(木) KPPみやこ会館	事例検討(8期生まで)	宮井久美子

事前研修会 (敬称略)

平成18年度応募者9期生8名

年月日・場所	内 容	講 師
平成18年 12月9日(土) 京都ガーデンパレス	被害者支援の歴史と現 状	KVSC副理事長 同志社大学大学院教授 奥村正雄
	被害者の声を聴く	少年犯罪被害当事者の会 代表 武るり子
12月16日(土) 京都商工会議所	被害者支援に関わる法 律について	KVSC理事 京都弁護士会弁護士 吉田誠司
12月19日(火) KPPみやこ会館	警察の被害者支援と刑 事手続	京都府警察本部犯罪被害 者対策室
	女性に対する犯罪につ いて	京都府警察本部犯罪被害 者対策室
平成19年 1月6日(土) 京都商工会議所	被害者支援に携わる人々 の問題	KVSC理事 京都光華女子大学教授 石附 敦
	支援について 電話相 談	KVSC理事 京都いのちの電話事務局長 平田真貴子
1月13日(土) ハートピア京都	交通事故被害について	KVSC理事 京都産業大学大学院教授 川本哲郎
	京都犯罪被害者支援セン ター及び犯罪被害者等早 期援助団体について	KVSC理事 事務局長・コーディネーター 宮井久美子
	被害を受けた人の心理 について	KVSC専門委員 精神科医 浜垣誠司

9期生を迎えて

今回受講された9期生は、事前研修終了と同時に全国ネットワーク春期全国研修会参加という、極めてハードな事態が待ち受けていたにも関わらず、全員役割を分担して下さり、早くも先輩方もなじまれ、幸先の良いスタートでした。

研修終了後、仕事の都合で止められた方もあり、6名の陣営ですが、強力なパートナーが誕生したと期待しています。





●●● 支援状況 ●●●

18年4月から19年2月末日までの支援状況については、電話相談286件、フリーダイヤル（9月から）78件の計364件、面接35件、直接的支援170件となっています。情報提供は6件、継続中5件です。

相談電話については、被害を受けたことによる心の悩み、その傷の深さを縷々と述べられるものがあり、具体的解決が見えないものも多々ありました。フリーダイヤルについては、前回も報告しましたように北部からの相談が多く、実際、面接、専門相談に到っているものもあります。情報提供分については、性被害が多く、面接、法律相談、裁判傍聴付添を経て、すでに解決に到っているものが3件です。また、強盗事件等については、きめ細かい訪問や電話対応を通じ、安堵感を持って頂けたことです。犯人は後に検挙されましたが、今後、独居の高齢者への対応について参考になる事例でありました。

9月1日からフリーダイヤル 0120 - 607830 開始、月曜～金曜の5日間

	電話相談	フリーダイヤル	面接相談	直接的支援
4月	24	-	3	17
5月	38	-	3	17
6月	24	-	6	18
7月	22	-	5	18
8月	11	-	3	12
9月	30	27	1	12
10月	32	17	1	12
11月	42	15	6	33
12月	17	10	2	14
1月	24	2	2	13
2月	22	7	2	4
合計	286	78	35 (1)	170 (68)

()は警察からの情報提供分について関わった数 通算25件中、一旦終了のもの16件



全国被害者支援ネットワーク 近畿ブロック会議

2月16日午後、大阪少年補導協会にて、ネットワーク近畿ブロック会議が開催されました。これはネットワーク理事会研修検討委員会、ビジョン検討委員会の報告のためにブロック担当理事である、大阪アドボカシーセンターの呼びかけによるものです。

おうみ、紀の国、京都、なら、ひょうご、大阪各支援団体が顔を合わせました。ネットワークから奥田さん、日本財団から長谷川さんが陪席されました。

早期援助団体の指定を受けるに際して、NPOの法人格をすでに取得されている団体が、どのような取り扱いになるのか、公益社団法人についてどのように対応するのか等々、話題はつきませんでした。今後ブロック会議も各地域まわり持ちで回数を重ね、進められるのが望ましいと願っています。

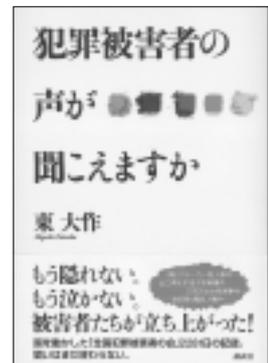
「犯罪被害者の声が聞こえますか」

東 大作 著・講談社

定価1995円(税込み)・332ページ・四六判

2004年12月に成立し、翌年4月に施行された「犯罪被害者等基本法」。放送記者時代から「全国犯罪被害者の会」(あすの会)への取材を続けていた筆者が見た、同法制定までの犯罪被害者たちの闘いの記録。

「犯罪被害者の過酷な生活」や「ゼロからのスタート」「支援の広がり」「立ちはだかる壁」など15章で構成。エピソードでは犯罪被害者支援を取り巻く今後の課題にも触れており、犯罪被害者の視点で同法成立までの流れを追うことができる。



毎年K V S Cでは、フォーラム終了後、理事長はじめ理事会、運営委員会、ボランティア、会員のメンバーすべて都合のつく人が集まり懇親会を開くことを常としています。

和気あいあいと意見交換を行い、日ごろ支援の中で感じていること等やりとりしながら親睦を深め意思確認を深めています。今年は特に全国研修会で活躍して下さったメンバーを中心に集いました。現在、ロースクールで勉強中のT君が「僕は、将来弁護士となって京都犯罪被害者支援センターの支援者として頑張ります」等、心強い決意表明があるなど大いに盛り上がりました。



8月29日	月例研修	11月20日	傍聴付添 法律相談付添	1月26日	面接
30日	美保学園講演	21日	面接	27日	全国研修実行委員会
31日	面接	22日	理事会	29日	運営委員会
9月1日	フリーダイヤルスタート	24日	面接	30日	傍聴付添 代理傍聴
7日	大谷理事長京都府知事を訪問		内閣府女性に対する暴力に関するシンポジウム	31日	面接
13日	傍聴付添 法テラス京都地方協議会	27日	宮津犯罪被害者支援連絡協議会(講演)	2月2日	公益法人説明会
14日	アクションプラン検討会	28日	「犯罪被害者支援週間」街頭キャンペーン	3日	全国研修全員最終打合せ
19日	弁護士会館付添 法律事務所付添	30日	訪問	5日	法律相談付添
20日	傍聴付添 運営委員会	12月1日	法律相談付添	6日	H.リーブス氏来日
21日	事務局コーディネート会議		犯罪被害者週間国民のつどい大阪大会	7日	全国ネットワーク理事会 チェ・ヘソン氏来日
22日	証人尋問に付添		7日	8日	全国ネットワーク春期全国研修会(フォーラム)
23日	広島被害者支援センター(講演)		法律相談付添 事務局コーディネート会議	9日	全国ネットワーク春期全国研修会(分科会)
25日	月例研修	8日	面接 運営委員会	11日	H.リーブス氏帰国 チェ・ヘソン氏帰国
27日	理事会	13日	法律相談付添	13日	京都地裁研修で講演
28日	家裁講話	14日	傍聴付添	16日	全国ネット近畿ブロック会議
10月1日	全国ネット研修委員会 理事会	16日	事前研修	22日	法律相談付添 家裁講話 京都刑務所講話 事務局コーディネート会議
2日	全国ネットフォーラム	18日	ロールプレー	23日	少年院講話
3日	「犯罪被害者支援の日」	19日	事前研修	26日	運営委員会
7日	少年犯罪被害当事者の会	21日	代理傍聴 家裁講話	27日	家裁座談会
10日	月例研修	22日	ロールプレー	28日	医療少年院講話
11日	傍聴付添	25日	法律相談付添	3月1日	傍聴付添
13日	傍聴付添		ロールプレー	2日	美保学園講演
17日	傍聴付添		KBSラジオ収録	5日	京都府警による立入検査
19日	傍聴付添 事務局コーディネート会議	27日	面接	6日	面接
20日	傍聴付添 八幡署犯罪被害者支援連絡協議会(講演)	1月6日	事前研修	12日	ボランティア慰労会
26日	家裁講話	10日	理事会	13日	京都地検講演
27日	傍聴付添	11日	全国研修打合せ	14日	傍聴・施設見学実習
28日	臨時総会 被害者サポートセンター おかやま講演	12日	傍聴付添	15日	事務局コーディネート会議
11月9日	傍聴付添	13日	事前研修	16日	理事会 被害者支援センターやまがた来局
10日	傍聴付添 運営委員会	17日	傍聴付添 京都府犯罪被害者支援連絡協議会「性犯罪」分科会	19日	おうみ犯罪被害者支援センター来局
15日	傍聴付添 面接	18日	法律相談付添	22日	家裁講話 事例検討会
16日	訪問 家裁講話 事務局コーディネート会議	23日	傍聴付添	23日	傍聴付添
18日	月例研修	25日	家裁講話 事務局コーディネート会議	27日	訪問
				31日	18年度通常総会

編集後記

春期全国研修会を終え、はっと気が付けば、「は一とめーる」が休眠していました。当センターの活動をご理解いただきたいと常々願っているにもかかわらず、このようなことになります。今回は、ご参加いただけなかった皆様にも少しでも春期全国研修会の様子をお知らせしたいと思いました。

お願い

住所変更された方は、お手数ですが事務局までご一報下さいますようお願い致します。

ホームページもご覧下さい

<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/kvsc7830/>

発行所 社団法人京都犯罪被害者支援センター

事務局 TEL & FAX 075-415-3008

E-mail kvsc7830@mbox.kyoto-inet.or.jp